

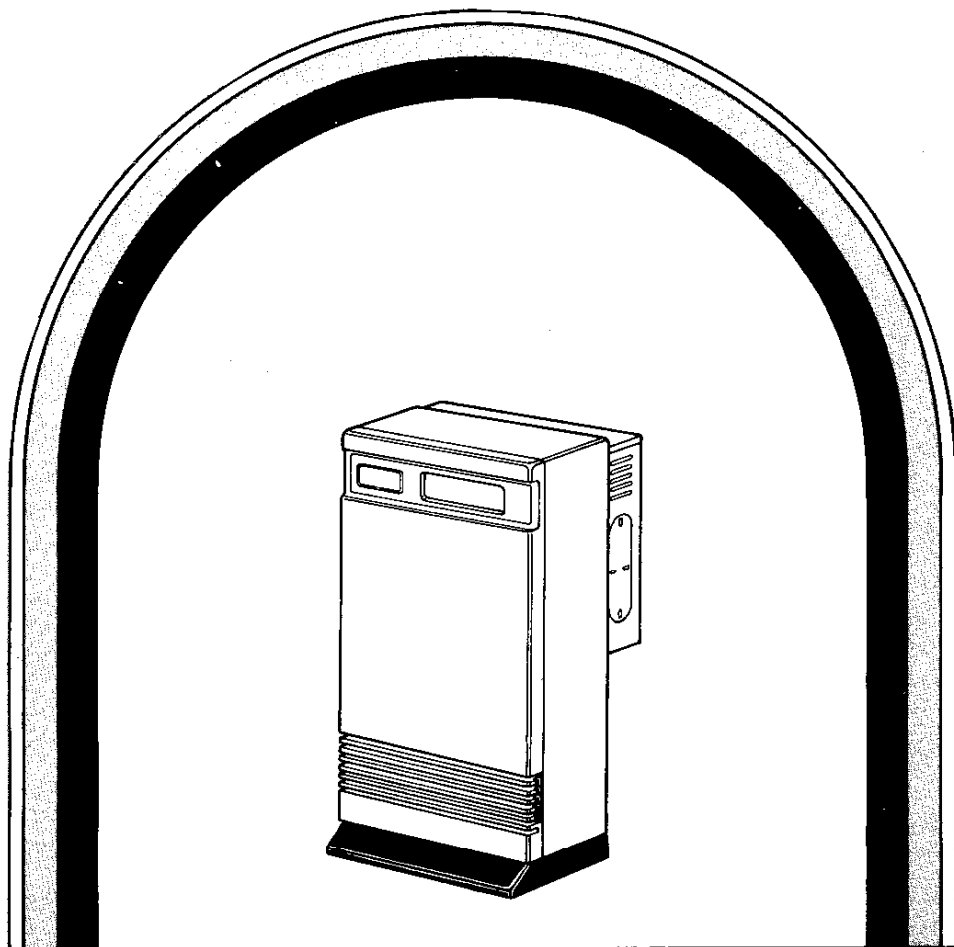


大阪ガス

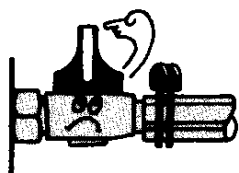
ガス クリーンヒーティング

取扱説明書 43-768A 型

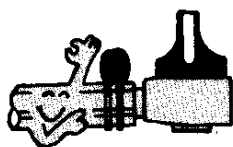
保証書付



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガス器具をお使いにならないときは、必ずガス元せんも閉める習慣を



ガス用ゴム管もときどき点検し、接続は確実に



ガス器具は、ガスの種類にあつた正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください

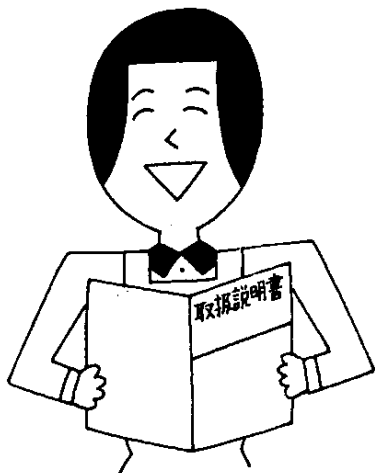
このたびは大阪ガスのガスクリーンヒーティングをお買上げくださりましてありがとうございました。

このクリーンヒーティングは、屋外給排気方式を採用したガス温風暖房機です。

暖房の燃焼部分は耐熱材で隔離されて露出していません。また燃焼ガスも屋外に排出されますから、室内の空気をよごす心配もありません。

ことしからはこのクリーンヒーティングで快適な冬の暮しをお楽しみいただけるものと確信いたしております。

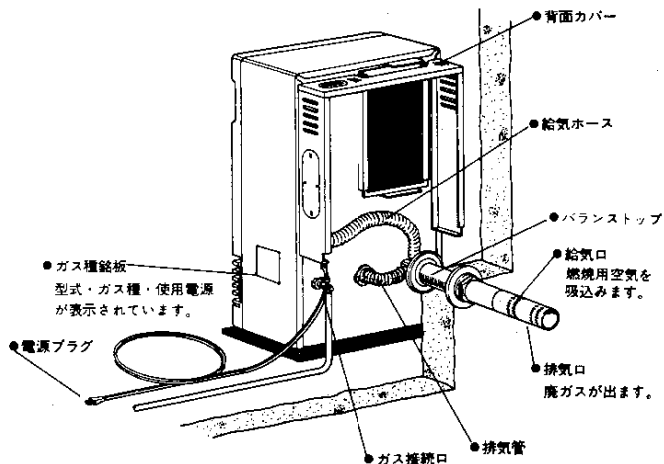
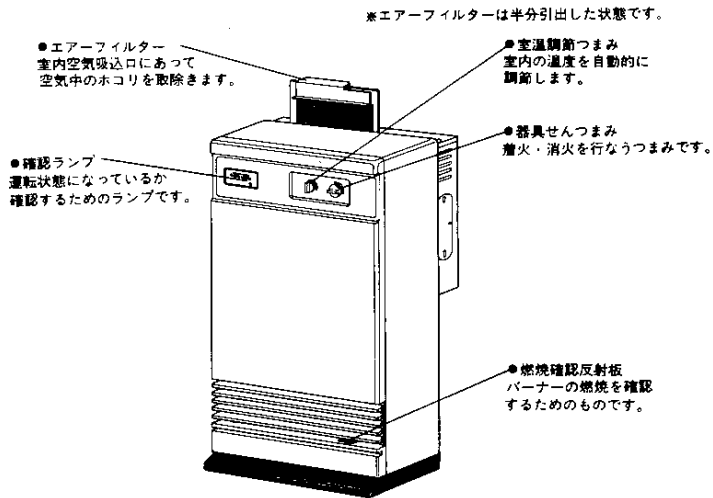
この「取扱説明書」をよくお読みになって充分にご活用いただきご愛用くださいませ。



もくじ

●各部の名称とはたらき	1
●使用上のご注意	2～4
●異常時の処置	5～6
●据付状態の確認	7～8
●ご使用方法	9～12
●安全装置が作動したときの処置方法	13
●故障・異常の見分けかたと処置方法	14
●日常の点検・手入れ	15～16
●保管(長期間使用しない場合)	17
●転居や据付場所を変更される場合	18
●特長	18
●アフターサービス	19
●仕様	20

各部の名称とはたらき

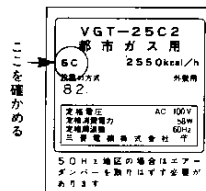


使用上のご注意

クリーンヒーティングを正しく安全にお使いいただくために、お使いになるかたのご協力をお願いいたします。

■使用ガス・電源について のご注意

器具（銘板）に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスは使用しないでください。器具右側ガス種銘板（例）

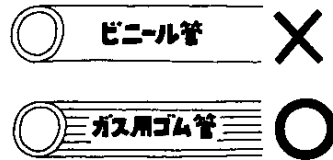


- 器具に表示してあるガス種（ガスグループ）でも指定されたガス会社のガス以外は使用できません。
- ガスグループ・ガス会社が異なる地域へ転居する場合は、調整または改造の必要があります。最寄りの大阪ガス支社または、転居先のガス事業者（ガス会社）に、ご相談ください。

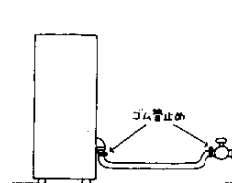
■ガスの接続

1. ガスもれ予防

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。



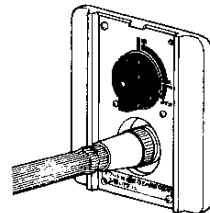
- ゴム管はキズのない新しいゴム管を使用し、ゴム管止めでしっかり固定してください。



- ガスもれに気づいたときは、すぐに使用を中止しガス元せんを閉じ、窓や戸を全部開けてガスを外へ出してから、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。



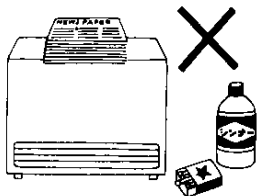
- 使用の際は、部屋のガス元せんを必ず全開にしてください。不完全燃焼の原因になります。



使用上のご注意

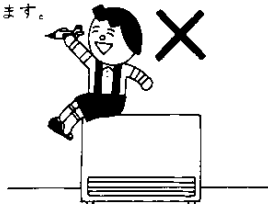
■器具本体

- 燃えやすいもの（カーテンなど）を器具の上、及び周囲に置かないでください。



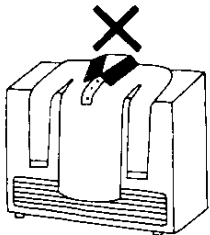
- 器具をゆすったり、こしかけたりしないでください。給排気管が外れる原因になります。

「やけど」や器具の変形の原因にもなります。

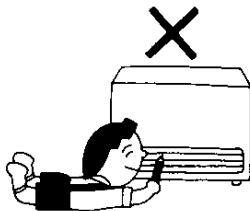


■温風吹出口

- 直接衣類などの乾燥用として使用しますと、器具内部に熱がこもり大変危険です。



- 紙・布・異物などを、温風吹出口に入れたりエアフィルターをふさいだりしないでください。



使用中、及び使用直後は、温風吹出口や排気管・バランスストップは高温になっていますので、触れると「やけど」の危険があります。

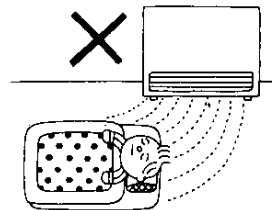
特に小さいお子さまが器具に触れることのないように、回りのかたが充分注意してください。

■温風

- 温風を長時間、直接からだに当てないようにしてください。

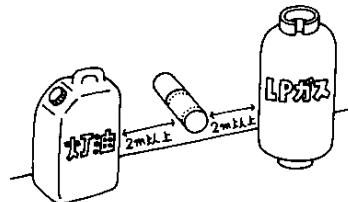
低い温度でも長時間当たりますと「やけど」をすることがあります。

特に体力のない病人・乳幼児・お年寄りには回りのかたが充分注意してください。

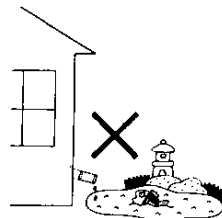


■バランスストップ

- バランスストップから廃ガスが出ますので、近くに危険物・可燃物・植木鉢や愛がん動物は置かないでください。



- バランスストップ先端から水滴（ドレン）が出ることもありますので下側に腐食汚損されて困るものがある場合は、大阪ガスサービスショップまたは、最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。



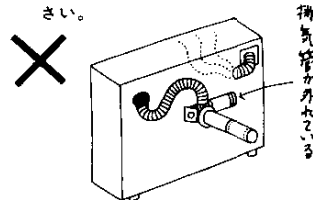
- 使用中のバランスストップは高温になりますので、お子さまなど触れるところ、人通りの多い場所に据付けた場合は、「やけど」の危険がありますので、防護ネット（別売部品）を取付けることをおすすめいたします。



■給排気管

使用中、廃ガスが室内にもれますと、酸素欠乏になり大変危険です。

給排気管が外れたり、穴があいたりしていないかときどき点検してください。

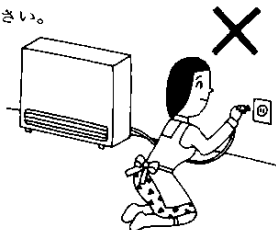


- 量換え・ジュータンの敷きつめ、または大掃除などで器具を持ち上げたり、ずらす必要がある場合は大阪ガスサービスショップ、または最寄りの大阪ガス支社にお申付ください。

■消火

- 消火は器具せんつまみで行なってください。

電源プラグを抜いて消火すると、器具が異常に過熱し器具の寿命を縮めますので、絶対に行なわないでください。



- 使用後は、必ず部屋内のガス元せんを閉めてください。

異常時の処置

次のような異常時には、あわてず対処して最寄りの「大阪ガス支社」へご連絡ください。

■ガスもれ

- ガスもれに気づいたときは、すぐに使用を中止しガス元せんを閉じ、窓や戸を全部開けてガスを外へ出してから、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

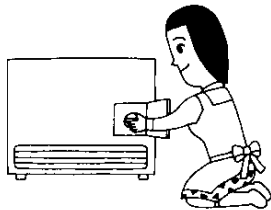


- 絶対に火をつけたり、換気扇やそのほかの電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



■異常燃焼

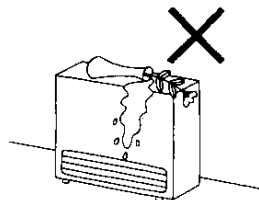
- 万一、異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合は、あわてずに器具せんつまみを「止」の位置にもどし、部屋のガス元せんを開めてください。



■器具内に水をこぼしたとき

- 万一、器具内に水をこぼして内部をぬらした場合は、運転を停止し電源プラグを抜いて、大阪ガスサービスショップまたは、大阪ガス支社へご相談ください。

ぬれたまま運転すると、漏電・火災などの原因となることがあります。



■安全装置が働いた場合

13ページの安全装置が作動したときの処置方法を参照して処置してください。

次のような場合は故障ではありません。

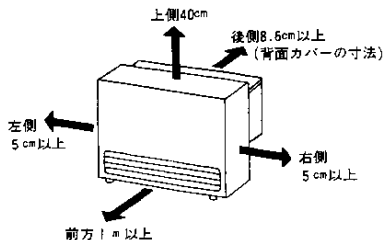
状 態	説 明
着火してもすぐに温風が出てこない。	器具内部が暖まれば温風が出ます。温風が出るまで2～5分かかります。
消火しても温風が出てくる	器具内部が冷えると自動的に止まります。
着火及び消火のとき「チリチリ」と金属音がする	金属の膨張・収縮によるきしみ音です。
温度調節をするとき「カチン」と音がする。	バーナーの「着火」「消火」を行なう電磁弁の作動音です。
バランスストップから湯げが出る。	燃焼した廃ガスは水蒸気を多く含んでいます。これが冷たい外気に触れると白く見えるためです。
着火したとき「ポッポッ」と音がする。	外気条件（厳寒時）によって起こることがあります。
器具せんつまみを回すのがかたい。	外気条件（厳寒時）によって起こることがあります。
初めて運転するときなかなか着火しない。	ゴム管の中に空気が入っているため、ゴム管内の空気を逃がしてください。 (10ページ参照)

据付状態の確認

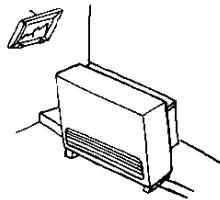
お客さま自身で据付けられた場合の事故については、保証いたしかねます。
据付工事が終わりましたら、ご使用になる前にもう一度正しく据付けられているか確かめください。
正しく設置されていませんと、不完全燃焼したり廃ガスがもれて危険です。

■器具本体の据付け

1. 器具の回りは必要な寸法だけあいていますか。
 - 器具上側40cm以上、左側・右側5cm以上、前方1m以上、後側8.6cmは必ずあけてください。
この空間がないと暖房効果がいちじるしく低下します。

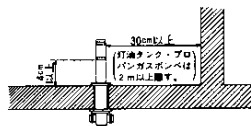
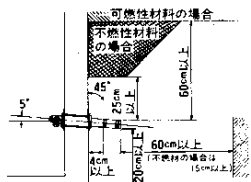


2. 床面の不安定な場所や燃えやすいものの上に据付けられていませんか。別売部品の敷板をお使いください。特に前に傾いて据付けられていたり燃えやすいものの上に据付けられていますと、温風により変色・変質することがあります。

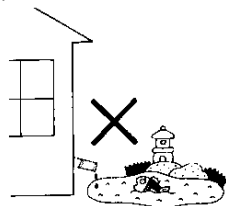


■バランスストップの取付け

1. バランスストップの屋外部分の回りは、廃ガスがよどまない開放空間で、下図の寸法だけあいていますか。またバランスストップは屋外に対して下向き約5度の下りこう配がついていますが、傾きが適正でないとバランスストップから雨水が入り故障の原因となります。

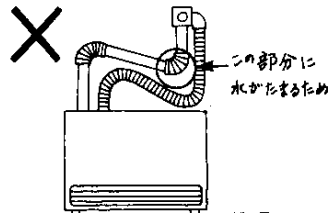


2. バランスストップの先端が池などの汚染、及び腐食の恐れがある所の上に据付けられていませんか。

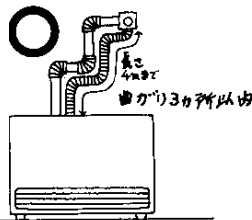


■給排気管の取付け

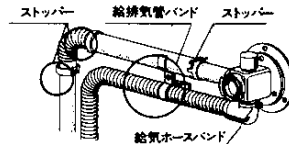
1. 延長給排気の場合、排気管の途中に水滴（ドレン）のたまるような下りこう配はありませんか。廃ガス中の水蒸気が水となって排気管内にたまります。



2. 延長給排気の場合、給気ホース・排気管の長さは4m以内で、曲がり部分が3箇所以内になっていますか。これ以上長く伸ばしたり、曲がり箇所を多くしますと、燃焼用空気が不足し不完全燃焼の原因となります。



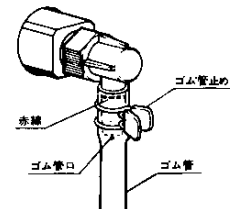
3. 給気ホース・排気管は確実に接続抜け止め・固定されていますか。



■ガスの接続

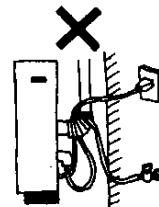
ゴム管は規定のガス用ゴム管を使用しゴム管接続部はゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止めでしっかり固定してありますか。

(ゴム管の長さは2m以内にしてください。)



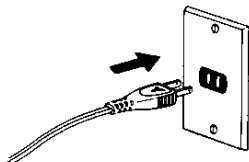
■電源コードの接続

電源コード及びガス用ゴム管と排気管との間は、5cm以上離れていますか。



ご使用方法

1. 電源プラグがコンセントに差込んであるか確認してください。

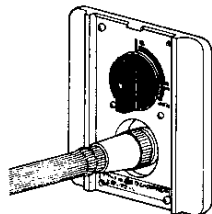


確実に差込んでください。

ご注意

- 電源プラグは交流100Vに差込んでください。

2. 部屋のガス元せんを必ず全開にしてください。



ご注意

- ガス元せんでは火力調節は行なわないでください。
不完全燃焼の原因となり危険です。

3. 器具せんつまみをゆっくり「開」の位置まで回してください。

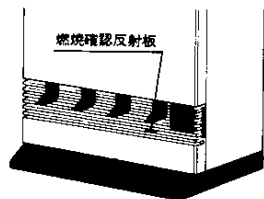


これで「確認ランプ」が点灯し操作後約10秒後に着火します。

ご注意

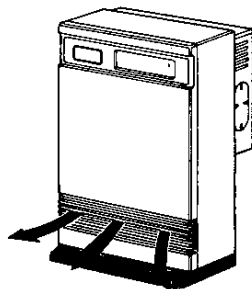
- 室温調節つまみでセットした温度より室温のほうが高い場合には、着火しません。
- 着火を確認する場合は、室温調節つまみを「試運転」の位置で確認してください。
- 器具せんつまみを早く回し過ぎると、確認ランプが点灯せず着火しない場合があります。このときはもう一度器具せんつまみをゆっくり回してください。

4. 着火したことを、のぞき窓から確認してください。



ご注意

- 約15秒たっても着火しないときは器具せんつまみをいったん「止」の位置へもどし、もう一度操作しなおしてください。



温風は2~5分後に吹出します。

ご注意

- 初めて運転される時、またはガス配管を取換えられたときは配管中に空気が入っているため1~2回の操作では着火しないことがあります。このときは着火操作を繰り返してください。
- 初めて運転されたとき温風吹出口から煙やにおいが出る場合があります。これは燃焼器に付着した油などが焼けるためです。数日でなくなりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。
- 着火時に「ポッ」と音がする場合がありますが異常ではありません。

ご使用方法

室温調節 (室温調節つまみでお好みの温度に調節してください。)



室温調節つまみの目盛りと室温のめやす

目盛り	室温のめやす
低温	8℃くらい
中	20℃くらい
高温	30℃くらい
試運転	40℃以下では連続燃焼

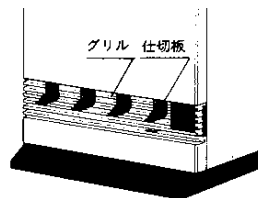
室温調節器 (ルームサーモ) が室温を検知し、メインバーナーの「着火」「消火」の繰り返しにより室温を自動的に一定に保ちます。

●室温調節つまみは「低温」から「高温」までの間どの位置にも無段階にセットできます。

ご注意

- 室温調節つまみのセット温度は、対流用ファンの吸込温度ですので、家屋の構造・据付位置・外気温度などによって必ずしも部屋の温度とは一致しませんので、あくまでもめやすと考えてください。
- 「試運転」の位置での、ご使用はさけてください。室温調節器 (ルームサーモ) が作動いたしません。

風向調節

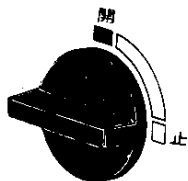


- 風向きを左・右に変えるには、グリルのおくの仕切板を、棒状のもの (ドライバーなど) で動かしてください。

ご注意

- グリルは温度の高いところがあり「やけど」の危険がありますので、運転中は風向調節しないでください。
- 風向きの左右の調節は3～5回が限度でそれ以上動かすと、仕切板が折れる恐れがあります。

消火



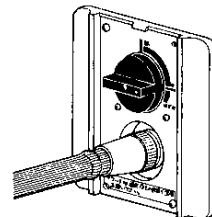
器具せんつまみを「止」の位置にもどす。

- ガスが止まり消火しますが温風はしばらく出て器具を冷却し数分後に停止します。

ご注意

- 電源プラグをコンセントから抜く場合は、対流ファンが停止してから行ってください。

消火



部屋のガス元せんを閉めます。

ご注意

- 消火は器具せんつまみで行なってください。
電源プラグを抜いて消火すると、器具が異常に過熱し器具の寿命を縮めますので、絶対に行なわないでください。
- 使用中停電したときは、器具せんつまみを「止」の位置にもどしてください。通電後は再度点火操作から行ってください。

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中に自動的に運転が止まってしまったときは、次の方法ならびに14ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」により処置してください。

1. 過熱防止装置

エアフィルターの目づまりや温風吹出口に障害物があり、器具内部が過熱しかけた場合には、過熱防止装置（ハイリミットスイッチ）が作動して燃焼を停止します。（器具が冷えれば運転可能です。）エアフィルターのお手入れ（15ページ参照）または障害物を取除いてください。

2. 異常過熱防止装置

万一、過熱防止装置（ハイリミットスイッチ）が作動しなかった場合でも、異常過熱防止装置（温度ヒューズ）が作動して、燃焼を停止します。（器具が冷えても運転できません。）この場合は、お買上げの大阪ガスサービスショップへお申付けください。

3. 電流ヒューズ

使用中なんらかの原因で過電流が流れたとき、電流ヒューズが溶断し運転を停止します。（燃焼用ファンが回りません。）この場合は、お買上げの大阪ガスサービスショップへお申付けください。

4. 停電時安全装置

燃焼中に停電になりますと安全装置が働いて燃焼を停止します。

- 停電時は使用できません。
- 再び通電しても自動的に運転しませんので、着火操作を行なってください。

5. 消火安全装置

ガス圧が低いときやガスの流れが一時的にしゃ断されたとき、また他の安全装置が働いて燃焼を停止したとき、バーナーへのガス通路を閉じ、生ガス流出による事故を防止する装置です。

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障・異常早見表

現象 原因	確認ランプが点灯しない	着火しにくい	着火のとき大きな音がする	ガスのにおいがする	燃焼がいつのまにか止まった	部屋がこげくさい	燃焼しても部屋が暖まらない	処置方法	参照ページ
停電中では	●				●			他の電気器具で確認してください	
電源プラグが抜けている	●	●						電源プラグをコンセントに差込んでください	
ガスの元栓が全開になっていない		●					●	全開にしてください	
ガスの種類が合っていない	●	●		●	●		●	ガスの種類が合っていない場合は、お買上げの大阪ガスサービスショップまたは、最寄りの大阪ガス支社にお申付けください	2
バランスストップの周囲に障害物がある			●		●		●	バランスストップの周囲の条件が守られているか確認してください	7
正しい操作をしていない		●						正しい着火操作をもう一度行なってください	9、10
室温調節つまみが「低温」側になっている		●					●	室温調節つまみを「高温」側にしてください	
エアフィルターが汚れている					●		●	エアフィルターを清掃してください	15
標準適量を満足していない							●	標準適量を満足していない場合は、お買上げの大阪ガスサービスショップまたは、最寄りの大阪ガス支社にご相談ください	
器具の周囲に燃えやすいものがある						●		取除いてください	
温風吹出口がふさがれていたり前方に障害物がある						●	●	取除いてください	
ガス配管が悪い（ガス用ゴム管）				●				すぐにガス元栓を閉めて窓をあげ、お買上げの大阪ガスサービスショップまたは、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください	
ガス圧低下している		●			●		●	他のガス器具を止めて、もう一度着火操作を行なってください	

以上の方法で点検し処理しても直らないとき、または点検しても心配なときは、お買上げの大阪ガスサービスショップまたは、最寄りの「大阪ガス支社」へご相談ください。

日常の点検・手入れ

長い間お使いいただくためには、お使いになるみなさまの日ごろの点検・手入れが必要です。次の点検・手入れはぜひ守って実行してください。

■点検・手入れの際のご注意

器具の冷えているときに、必ず電源プラグをコンセントより抜いて行ってください。

燃焼中、または対流用ファンが回っているあいだは、絶対に電源プラグを抜かないください。

- 安全装置・ファン・熱交換器・燃焼器・電気部品・ガスの通路部分は分解しないでください。

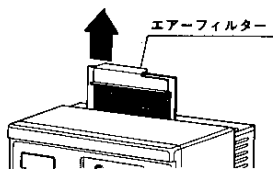
■エアフィルターの お手入れ (1週間に1回以上)

エアフィルターの目づまりは、温風量を低下させ、場合によっては過熱の原因となり器具の寿命を縮めることにもなります。

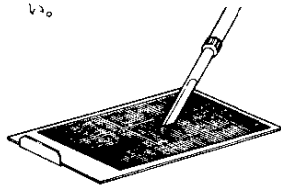
- 過熱した場合には、過熱防止装置が働いて自動的に燃焼を停止します。

お手入れの順序

1. 器具裏側のエアフィルターを上側に引出してください。



2. エアフィルターのホコリを掃除機やブラシなどでよく清掃してください。



- 水洗いをする場合は、金属タワシなどの使用はさけてください。また、かわかすときに直接、火にあぶったりしないでください。

3. 汚れを落としましたら、エアフィルターを元通り奥まで差込んでください。

■ガス配管の点検

ゴム管及びゴム管の接続状態及びもれの有・無を点検してください。ゴム管にひび割れなどありましたら、すぐにお取替えてください。



■給排気部品の点検 (1シーズンに1回以上)

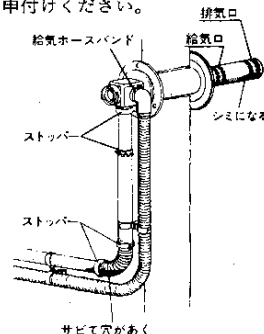
バランスストップ・給気ホース・排気管は確実に接続固定されているか点検してください。

- バランスストップ・排気管は、長期間使用しますと、周囲の環境条件（海岸付近・温泉地・大気汚染地など）によって腐食することもあります。バランスストップ・排気管にサビや穴があいていないかときどき点検してください。

また、運転中にバランスストップの排気口より廃ガスが出ているか、給気口より燃焼用空気が吸込まれているか確認してください。

排気管が外れたり穴があいて廃ガスが室内にもれると酸素欠乏をおこしますので大変危険です。

異常があれば直ちに使用を中止し、お買求めの大阪ガスサービスショップまたは最寄りの大阪ガス支社へお申付けください。



■器具外装のお手入れ

あまり汚れのひどくならないうちに、やわらかい布をぬるま湯にひたしよくしぼってからふいてください。

- 揮発性の溶剤（ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など）、スプレー、化学ぞうきん、みがき砂などを使用しますと、色があせたりつやがなくなることがあります。



保管（長期間使用しない場合）

暖房シーズンが終わって、次のシーズンまで長期間保管して置く場合、次のような点検・手入れを行なって、できるだけそのままの位置で保管してください。

故障箇所がある場合には、次のシーズンにすぐ使用できるよう修理をすませてから保管してください。

1. 電源プラグはコンセントより抜いてガス元せんは確実に閉めてください。

2. エアークリフィルターのゴミやホコリは、ぬるま湯で洗って、こまかいホコリまで落としたあとよく乾かして元の位置に差込んでください。

3. シーズン後や冬でも長期間使用しない場合には、クリーンヒーティングをすっぽりおおってしまうカバー（付属品）をかけることをおすすめいたします。

温風吹出口などから器具内部に入るホコリや外装の汚れを防ぎます。

取外して収納する場合

● バランスストップはそのままにしておいてください。

● 器具は湿気の少ないところに保管してください。

● 次のシーズン前に、必ず据付工事をお買上げの大阪ガスサービスショップまたは最寄りの大阪ガス支社にご依頼ください。（有料）

転居や据付場所を変更される場合

転居したときは調整が必要な場合があります。

器具右側面にはり付けてありますガスの種類と周波数の組み合わせ以外で使用することはできません。

電源の周波数やガスの種類の異なる地域へ転居の場合は最寄りの大阪ガス支社、または転居先のガス会社に相談し、必ず調整をしたうえでご使用ください。また据付場所を変更するときは、専門の工事店にご依頼ください。

特長

43-768A型クリーンヒーティングは、省エネルギー、省スペース、低価格を追求したコンパクトタイプのクリーンヒーティングです。

その特長は

1. たて形化により設置スペースを節約します。
2. 温風下吹出しで、小型でも快適な暖房が実現します。
3. ダイレクト着火式の採用で、たね火がなくなり省エネルギーに貢献します。
4. サーミスター方式室温調節器内蔵で自動的に室温をコントロールします。
5. 快適な温風暖房を、お求めやすい価格でおとげします。

アフターサービス

正しい取扱いをいただければ、ご満足いただけるものと思いますが、万一異常がありましたら、お早目にお買求めの大阪ガスサービスショップへお申出ください。

なお、ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

■大阪ガスサービスショップへの問い合わせは

故障などでサービスを大阪ガスサービスショップへ依頼される場合は、次の2点をはっきりとお知らせください。

1. 製品銘板……………器具本体左側面に記載してあります。

(例)



2. 故障状況

■保証書について

保証書は、この「取扱説明書」と一諸に同封されております。

「取扱説明書」と一諸に大切に保存しておいてください。

保証書がありませんと、サービス料金をお申受ける場合があります。

■部品保有期間

クリーンヒーティングの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■製造元

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号

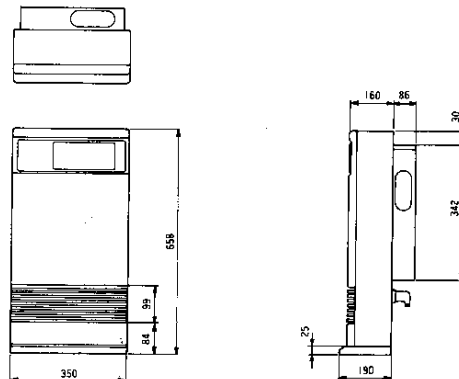
仕様

器具名	43-768A (VGT-25C2)	
燃焼方式	強制燃焼方式	
給排気方式	密閉式(強制給排気式)	
熱交換方式	強制対流式	
着火方式	連続放電着火方式	
標準適室	6~9畳	
外形寸法(mm)	高さ658、幅350、奥行246 (背面カバー付)	
重量(kg)	14	
電気関係	電源	100V 60Hz
	消費電力	58W
	電源コードの長さ	2m
バランストップ	壁貫通部穴径: 80mm	
安全装置	過熱防止装置 異常過熱防止装置 電流ヒューズ、消火安全装置、停電時安全装置	
ガス接続口	φ9.5 ガス用ゴム管	
ガスの種類及び消費量	都市ガス 6A・6C・13A ————— 2550kcal/h LP(プロパンガス) ————— 0.20kg/h	

ご注意

- 標準適室は、大阪地区の場合を示し、厳寒地ではこの値と必ずしも一致しません。
- 上表及び器具側面に表示されているガスの消費量は標準ガスを使用したときの消費量を表わし、各家庭での消費量とは一致しないことがあります。

外形寸法図



本社・支社所在地および電話番号表

本	社	大阪市東区平野町 5-1	電話	大阪	06 (202)2221	☎541
南	支	大阪市西成区玉出東 2-9-41	電話	大阪	06 (652)0001	☎557
北	支	大阪市淀川区十三本町 3-6-35	電話	大阪	06 (301)1251	☎532
堺	支	堺市住吉橋町 2-2-19	電話	堺	0722 (38)1131	☎590
北	支	高槻市藤の里 39-6	電話	高槻	0726 (71)0361	☎569
阪	支	西宮市和上町 4-11	電話	西宮	0798 (26)3101	☎662
東	支	東大阪市稲葉 2-3-17	電話	河内	0729 (62)1131	☎578
京	支	枚方市西田宮町 16-17	電話	枚方	0720 (41)1251	☎573
神	支	神戸市中央区相生町 5-13-10	電話	神戸	078(576)5231	☎650
京	支	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話	京都	075(231)8151	☎604
奈	支	奈良市学園北 2-4-1	電話	奈良	0742 (44)1111	☎631
和	支	和歌山市本町 1-1	電話	和歌山	0734 (31)2481	☎640
姫	支	姫路市神屋町 4-8	電話	姫路	0792 (85)2221	☎670
東	支	加古川市加古川町栗津29-1	電話	加古川	0794 (21)1801	☎675
豊	支	豊岡市三坂町 6-57	電話	豊岡	07962 (3)2221	☎668
湖	支	草津市追分町字荒堀 680-1	電話	草津	0775 (62)5311	☎525
彦	支	彦根市大東町 9-41	電話	彦根	0749 (22)3131	☎522
(長	支	長浜市南呉服町 3-4	電話	長浜	07496 (2)7171	☎526)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

8204AⓄR
588H50387